

ビーム照射報告書 (例)

20** 年 **月 **日

仁科加速器科学研究センター・産業利用開発チーム ○○ ○ 印

1. ビーム供給

課題番号: IC** - ** - ** (A03)
加速器構成: AVF サイクロトロン + RRC サイクロトロン
重イオンビーム: 1次ビーム Kr-84, 70 MeV/A E5A コース
利用希望時間: 40 時間

2. 照射日時

20**.***/**(*) 09:00 ビーム調整開始、照射準備
.**/**(*) 15:00 利用開始
.**/**(*) 6:00 利用終了 (開始～終了 39 時間 00 分)

施設側の原因によるロスタイム

.**/**(*) **:**~ (0:10 時間) 加速器の微調整

.**/**(*) **:**~ (0:20 時間) 加速器の微調整

ロスタイム 合計 0:30 時間

当初のビームタイム日程内で、上記利用希望時間を充たす照射を実施した。

照射時間: 38 時間 30分 (ロスタイムを除いた実質照射時間)

利用時間: 40 時間 00分 (マシンタイム申請時の利用希望時間) [注 1]

3. 施設利用料金

課題種別: 成果占有利用(成果非公開型)
施設種別: AVF+RRC
実験施設構成別利用費: 77,600 円/時間x 40時間 = **¥3,104,000**
施設消耗品費: 7,800 円/時間x 40時間 = **¥ 312,000**
合計 **¥3,416,000**

以上

[注 1] 利用時間の積算は、ビーム渡し～照射終了(原則、ビームタイム表に記載された終了時刻)までの時間です。利用時間中に、利用者の都合でビームを止めている時間(照射試料交換等で照射室へ入室時)も積算されます。但し、施設側の理由(例:加速器不調による中断等)でビームが停止している時間は積算しません。

実験消耗品費報告書（例）

20** 年 **月 **日

仁科加速器科学研究センター・産業利用開発チーム ○○ ○ 印

実験消耗品費

内訳

本照射課題に於いては、新たな実験消耗品は無かった。[注2]

理由：同利用者が20**年**月より実施している照射と、
今回の照射条件も同じであり、その時の消耗品を再利用できた為。

合計 ￥0

（付記）20**年**月に計上した実験消耗品費の内訳

- 例) シンチレーション検出器:プラスチックシンチレータ
**社製 0.1tx60x60mm ライトガイド付き 1個

￥45,360

以上

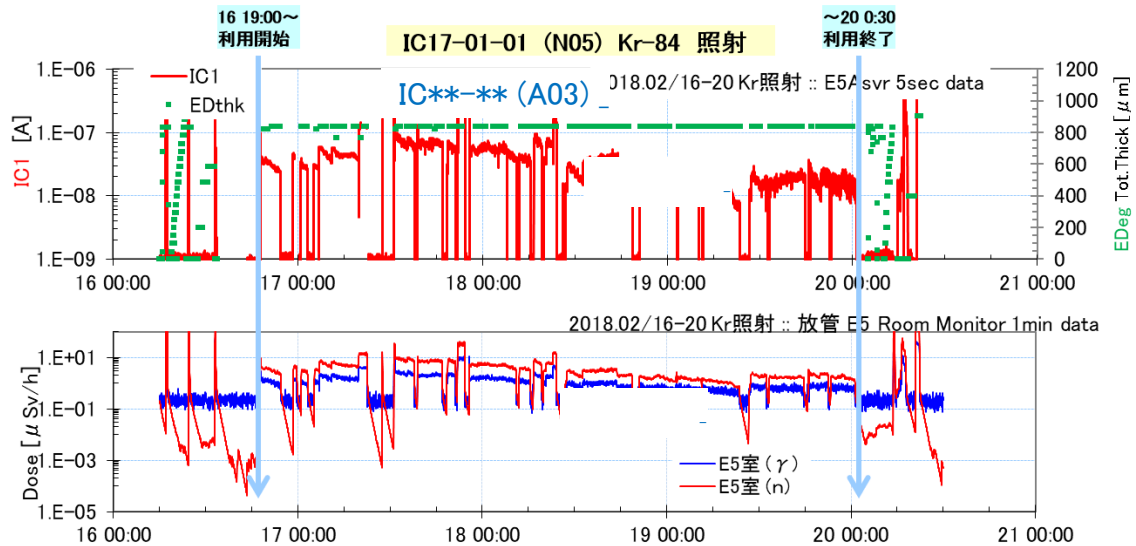
[注2] 実験消耗品費は、その利用課題に特有な消耗品の費用です。課題申請の時に当チームと詳しい実験方法についてご相談下さい。

上記の例では、E5Aコースで利用実施中に、利用者が常時使用しているプラスチックシンチレータ検出器の場合です。長期間使用していると、放射線損傷により劣化しますので、1～2年毎に交換が必要です。この様な場合に、利用者間(複数会社)で均等割りで費用負担をお願いしております。

(付記) ビーム照射記録 (例)

グラフデータは例です

上記課題のビーム照射期間中に於いて、ビーム量関連の記録を示す。



それぞれの課題の照射トレンドグラフに於いて、

上側グラフ: IC1 (電離箱) で検出した電流値 [A]

この検出器は、利用者試料へ照射したビーム量を示すものである。

下側グラフ: 放射線管理室の E5 照射室ルームモニター

γ (ガンマ線)、n (熱中性子線) [μSv/h]

これら2つの検出器は、照射室に入射したビーム量を示すものである。

以上